

図画工作科 学習指導案

令和3年2月2日(火)

第5学年2組(第1図工室) 指導者 原 太郎

【題材】「思い」を観よう！(鑑賞)

| 考察 | 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 学びに向かう力, 人間性等 |
|------------|--|---|--|
| 育成を目指す資質能力 | <ul style="list-style-type: none"> 自己の思いに合わせて, ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方を工夫する力 (A(2)イ) ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方から造形的な特徴を理解する力 (共(1)ア) | <ul style="list-style-type: none"> ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方から, 作者の思いを読み取り, 自己の見方や感じ方を深める力 (B(1)ア) 背景の色や光, 空間, ボールが動いた軌跡がつくる形などから自身のイメージをもつ力 (共(1)イ) | <ul style="list-style-type: none"> ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方から主体的にイメージを広げようとする態度 |
| 児童の実態 | <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞の際に, 作品の工夫点や良い点は見付けられるが, 作者の思いに気付ける児童は少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 構想の段階で, アイデアを何パターンも試すことができないため, イメージを広げられず, 行き詰まることがある。 席が近い児童同士で影響し合い, 似たような作品を製作する傾向がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 道具や材料の扱い方を得意としない場合, イメージしたことや思いを上手く表現できず, 授業への意欲が高まらない児童もいる。 |
| 価値 | <ul style="list-style-type: none"> 本題材では, ボールを撮影対象とした映像を撮影し, 鑑賞を行う。映像は, 自己を表現する側面と, 作者の思いを伝えるという側面があり, 製作の過程で, 映像を見る他者を自然と意識しやすい。また, 他者を意識して製作した映像を鑑賞することで, 表現することと鑑賞することを一体的に行うことができ, 背景の色や光, 空間, ボールの動いた軌跡がつくる形などの造形的な特徴から, 作者の思いを意識しながら鑑賞をすることができる。撮影対象のボールは, 直径約7cmのゴム製素材のものを使用するため, 扱いが容易で, 繰り返し撮影を試すのに適している。また, 転がせるだけでなく, 跳ねさせることもできるので, 高さや方向といった空間的な動きを出せるとともに, 配置によって背景の色や光の加減を変えることもできる。また, 撮影する角度や距離を工夫することで, ボールの見え方を変えることができる。ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方の組合せによる児童の思いに合った映像の鑑賞をすることができる。 ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方を変えることで, 見え方や感じ方の違いに気付くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方を何度も試したり組み合わせたりすることで, 自身のイメージを広げながら表現したり鑑賞をしたりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 表現と鑑賞を繰り返し行うことで, イメージを広げたり, 改善点に気付いたりして主体的に表現活動や鑑賞活動ができる。 |
| 見方・考え方 | <p>ボールの配置や動かし方, 撮影の仕方によって変わる見え方や感じ方に気付き, 自分なりのイメージをもつこと。</p> | | |
| 今後の学習 | <p>6年「本物を見る前に－鑑賞－」で鎌倉の代表的な文化遺産や彫刻の森の作品を鑑賞する学習へと発展していく。</p> | | |

指導と評価の計画

| | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|--|
| 目標 | ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などから作者の思いを読み取り、自己の見方や感じ方を深めることができる。 | | | |
| 評価 規準 | <p>(①知・技) ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などから造形的な特徴に気付いている。 ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などの組合せ方を工夫している。</p> <p>(②思・判・表) ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などから作者の思いを読み取ることができる。</p> <p>(③主体的態度) 映像の製作や鑑賞を通して、ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などを基に、主体的に作者の思いを読み取ろうとしている。</p> | | | |
| 過程 | 時間 | 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 |
| であう あらわす・ ひろげる ふりかえる | 2 | ○撮影機器とボールを使い、思いを映像として伝えることを知り、構想を練る。 | ○映像で思いを伝えるための見通しをもてるように、背景の明るさやボールの動かし方、撮影の仕方を変えた映像の参考作品を複数例示する。 | ◇背景の色や明るさ、ボールの動き、撮影の仕方の変化から感じることに付いて、発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①> |
| | 1 | ○自己の思いを基に、ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などを工夫して撮影をする。(本時) | ○撮影のイメージを広げられるように、ロイロノートに「ボールの配置」「ボールの動き」「撮影の仕方」で分類した提出箱を作成する。 | ◇背景の色や明るさ、ボールの動き、撮影の仕方の変化を根拠に、映像への感じ方の違いを説明している。 <発言①> |
| | 1 | ○撮影した映像を自己の思いに近付け、映像を仕上げ。 | ○鑑賞する他者を意識して映像を編集できるように、自己の思いについて振り返る時間を設定する。 | ◇思いを基にした映像を再撮影したり、編集したりしている。 <作品①> |
| | 2 | ○完成した映像を鑑賞し合う。 ○活動を通して感じたことを振り返る。 | ○鑑賞した映像から作者の思いを読み取れるように、造形的な特徴から感じ取ったことを伝え合う時間を設定する。 ○映像の造形的な特徴から、作者の思いを読み取ったことを実感できるように、これまでの活動の成果をまとめる学習プリントを用意する。 | ◇ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などを根拠に、作者の思いを記述している。 <学習プリント②> ◇作者の思いを読み取るために考えたことや、読み取った達成感を学習プリントに記述している。 <学習プリント③> |

本時の学習（3／6時間目）

ねらい ボールの配置や動かし方、撮影の仕方などを工夫して、自己の思いを表現する映像を撮影することができる。
 評価項目 背景の色や明るさ、ボールの動き、撮影の仕方の変化を根拠に、映像への感じ方の違いを説明している。

<発言①>

| 学習活動と児童の意識 | 指導上の留意点 |
|--|--|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・「たのしさ」が伝わる映像にするにはどのようにすればよいか。 (目的意識)</p> </div> <p>めあて：自分の思いに合わせて撮影方法やボールの動かし方を工夫しよう</p> | <p>○映像で自己の思いを表現するという目的意識をもてるように、前時までにしたことと本時にしたいことを問いかける。 ○工夫する方法の見通しをもてるように、「ボールの配置」や「ボールの動かし方」、「撮影の仕方」の視点を提示する。</p> |
| <p>2 映像を撮影したり、撮影した映像を見合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールをどのように配置して動かそうかな。 ・タブレットを地面に置いて、ボールが跳ねる様子を撮ると、迫力があるな。 ・「ボールの配置」をもっと工夫したいな。他の友達はどう撮っているかな。 ・他にもボールを追うように撮ったり、高い場所から遠くにあるボールを撮ったりしてみよう。 ・高い場所から撮った映像でも、転がっているボールの映像と跳ねているボールの映像は、違う感じがするな。 ・自分は「たのしさ」を伝えるために、ボールの配置を明るいところにしたよ。友達は明るさから「たのしさ」を感じるかな。 ・ボールの動きも、跳ねさせるようにすると、より「たのしさ」が伝わりそうだな。撮影の仕方も、ボールの動きに合わせてみようかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ボールの動き以外に、ボールを置く場所や、撮影の仕方を工夫して組み合わせることで、「たのしさ」がより伝わるのがわかったよ。 (目的を達成した意識)</p> </div> <p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たのしさ」がうまく表現できたな。次は映像の長さや、つながりを調整したいな。 | <p>○撮影のイメージを広げるきっかけを得られるように、第一図工室のベランダ、第一図工室前の階段、南校舎玄関までを利用し、「ボールの配置」や「ボールの動かし方」、「撮影の仕方」を変えながら撮影をするよう促す。 ○撮影の仕方を工夫できるように、撮影機器の置き方や動かし方を演示する。 ○撮影の改善点を得られるように、撮影した映像を「ボールの配置」や「ボールの動かし方」、「撮影の仕方」の視点で分類し、ロイロノート上に提出するように促す。 ○進んでいる色々な映像を撮影できるように、「ボールの配置」や「ボールの動かし方」、「撮影の仕方」を工夫してる児童を称賛する。 ○「ボールの配置」や「ボールの動かし方」、「撮影の仕方」を組み合わせ、様々な映像を工夫して撮影できるように、一つのボールの動きに対して、「ボールの配置」や「撮影の仕方」を変えた複数の映像を例示する。 ○自他の撮影した映像から感じることの共通点や相違点に気付けるように、撮影した映像を他のグループ同士で見合うよう促す。 ○自己の思いをより表現できるように、「ボールの配置」や「ボールの動かし方」、</p> <p>○次時への活動に対する意欲をもてるように、本時の学習で気付いたことや、次時にしたいことを問いかける。</p> |

授業の振り返り

※授業の様子は、本校 HP でも紹介しています。
【教育研究→令和2年度提案・部内授業の様子】

| | |
|-------|--------------------|
| 機器 | タブレット（1人1台）、大型モニター |
| 使用アプリ | ロイロノート |
| 機能等 | 提出箱（共有・比較） |

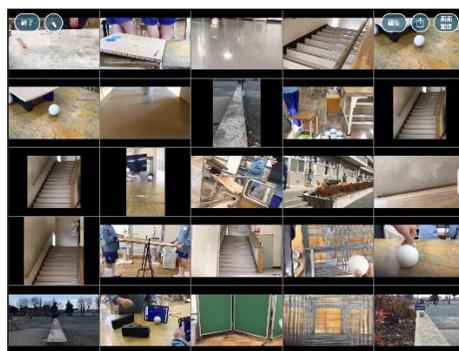
○実際の授業の流れと児童の様子

【導入】 児童は前時で、直径7cm程のボールを撮影し、映像で思いを伝えたり、思いを読み取ったりするという課題をつかんだ。そして本時では、「ボールの配置」、「ボールの動き」、「撮影の仕方」の視点を確認し、「自分の思いを伝えるために工夫して映像を撮る」という本時のめあてをつかんだ。

【展開】 児童は自分の思いを伝えるべく、映像の撮影を行った。そして、撮影した映像を「ボールの配置」、「ボールの動き」、「撮影の仕方」に分類された、ロイロノートの提出箱に提出した。その後、児童は、他者が提出した映像を見て、再度撮影し直していた。これは、映像の新たな価値に気付いた姿であると考えられる。一方で、自己の思いを伝えるために、撮影に夢中になり、他者の映像を見ない児童もいた。



<映像を撮影する児童の様子>



<ロイロノートの提出箱の様子>

その後、撮影した映像を他のグループの友達同士で見合った。児童は、他者の映像から感じたことを映像上に書き込み、送り返した。

そして、送られてきた感想を基に、再度撮影を行った。『自分は、「たのしい感じ」という思いで撮影していたが、友達から「怖い感じがする」という感想があったため、

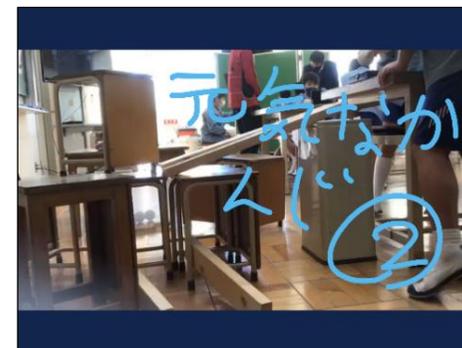
「明るさ」に着目し、明るい光が反射する鏡の上にボールを置いて撮影した』という児童の姿が見られた。これは、他者の感想から、改善点に気づき、自己の表現を新たにした姿であると考えられる。

【終末】 児童は撮影したことや映像を見合ったことを振り返った。児童は、撮影した映像への自己の思いと、他者の感想の共通点や相違点から、改善点を見付け、工夫して映像の撮影ができたことを発表した。

児童は、自己の思いをより伝えることができるようにするために、次時では映像の長さを変えたり、映像の組合せを変えたりして、編集したいという目的意識をもった。

○授業改善に向けて

- ・本時では、撮影することに夢中になり、他者の映像を見るまでに至らない児童もいた。他者の映像を見ることは、自分の表現と比較し、さらに自分の表現を工夫するきっかけとなる。今後は、ICTを用いた映像を見合う機会を、撮影が十分に行われた状態で設定し、表現と鑑賞の一体化をより図っていきたい。



<感じたことを書き込んだ映像>